

落合サマーフェスタ

地域の皆さまに、愛され親しまれる水再生センターを目指し、毎年夏休中に開催しています。



落合中央公園

昭和39年に日本で初めて水処理施設の上部を利用して作られた公園です。公園内には野球場、テニスコートなどもあり、多くのお客さまに利用されています。
 〈野球場、テニスコート利用申込先〉
 公益財団法人新宿未来創造財団
 TEL03 (3232) 7701



せせらぎの里公苑

水処理施設の上部空間を地域のお客さまに開放しています。公苑内には遊具を備えた子ども広場などがあり、また水路や池には下水を膜ろ過処理した水が流れて、快適な水辺環境を提供しています。



案内図



下水道の役割や水環境の大切さを、楽しみながら学べる体験型施設です。

- 開館時間/9:30~16:30 (入館は16:00まで)
- 入館無料
- 休館日/月曜日(月曜日が祝祭日の場合は開館し、その翌日休館)、年末年始 ※夏休み期間は無し
- 所在地/江東区有明2-3-5 有明水再生センター5階
- ☎03-5564-2458
- ホームページ <https://www.nijinogesuidoukan.jp/>

下水道局との関係をおわす 悪質業者にご注意を!

下水道局では、宅地内排水設備の修理や清掃などを業者に依頼することはありません。

●東京アメッシュ
都内とその周辺地域で降っている雨をレーダーと地上雨量計で観測し、リアルタイムに表示するシステムです。

●下水道アドベンチャー
下水道についてのクイズに正解して、下水道マイスターを目指そう。

●下水道局ホームページ <https://www.gesui.metro.tokyo.lg.jp/>

水再生センター見学受付窓口

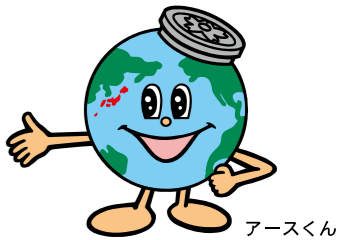
土曜、日曜、祝日、年末年始を除いて、水再生センターの施設を見学することができます。ご予約・お問い合わせは見学受付窓口までお願いいたします。

電話番号 **03-3241-0944**
 受付時間 **9:00~17:00(平日のみ)**



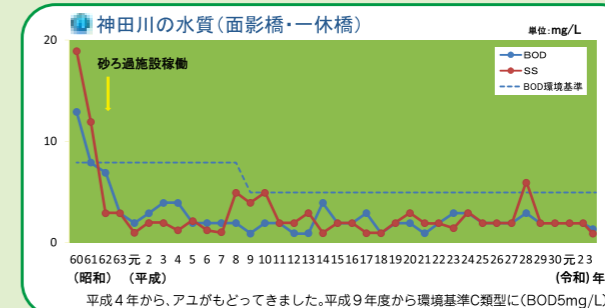
地域で育む水環境

落合水再生センター



落合水再生センターは、新宿副都心に極めて近く、住宅地に囲まれた水再生センターとして環境に配慮した管理を徹底しています。処理区域は、落合処理区(3,506ha)のうち、中野・新宿・世田谷・渋谷・杉並・豊島・練馬区の一部です。

処理した水は神田川に放流しています。また、一部は再生水として西新宿や中野坂上地区のビルのトイレ用水や城南三河川の清流復活事業に活用しています。発生した汚泥は、東部スラッジプラントへ圧送し、処理しています。



●処理区域



(令和5年4月現在)

- 運転開始 昭和39年3月
- 敷地面積 85,143㎡
- 処理能力 450,000㎥/日
- 水処理施設
 - 沈砂池 8池
 - 第一沈殿池 10池
 - 反応槽 10槽
 - 第二沈殿池 12池
 - 高速ろ過池 1池
 - 砂ろ過池 33池
- 雨天時貯留池 13,000㎥

●流入・放流水質

水再生センターからの放流水は、「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」の水質基準を十分に満たし、魚がすめる水質です。

項目	流入水		放流水	条例による放流水の水質基準
	超低段	高段	砂ろ過水	
B O D	250	140	2	25以下
C O D	120	100	7	—
全窒素	37.8	33.6	13.1	30以下
全りん	4.8	3.5	2.1	3以下

令和3年度 24時間試験平均値
 ※ BOD、CODは、数値が高いほど水が汚れていることを示します。BODは、微生物が有機物を分解するのに使う酸素量、CODは酸化剤で有機物を分解して消費する酸素量で測ります。放流水の水質基準は、河川はBOD、海域はCODにより定められています。全窒素、全りんは、赤潮の発生などと深くかかわっています。

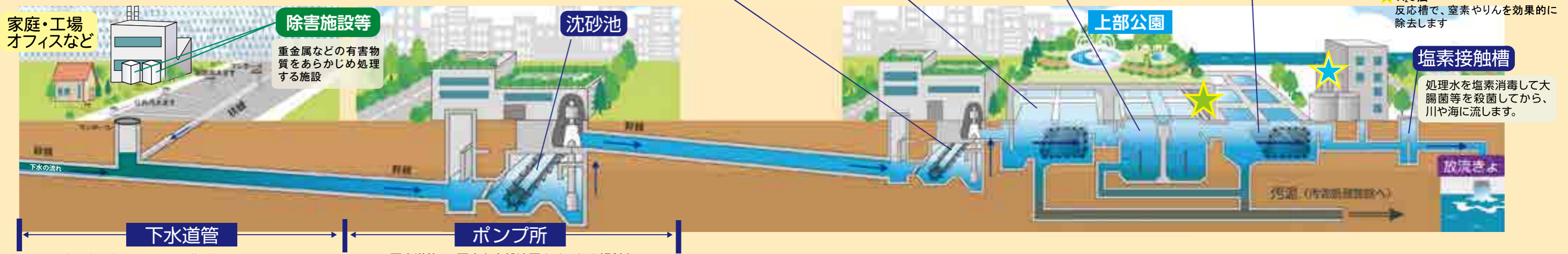


下水道のしくみ

下水道は、主に3つの施設でできています。

- 下水を集めて流す**下水道管**
- 下水道管が深くなりすぎないように途中で下水をくみ上げる**ポンプ所**
- 下水を処理してきれいな水によみがえらせる**水再生センター**

どの施設も正しく働くように日々点検、清掃、補修などを行っています。



家庭・工場
オフィスなど

除害施設等
重金属などの有害物質をあらかじめ処理する施設

沈砂池
下水が入る最初の池で、大きなごみを取り除き、土砂類を沈殿させます。

第一沈殿池
2~3時間かけて下水をゆっくり流し、下水に含まれる沈みやすい汚物を沈殿させます。

反応槽
下水中の汚物を微生物が分解し、細かい汚れも微生物に付着して、沈みやすいたまりになります。

第二沈殿池
反応槽でできた泥(活性汚泥)のかたまりを3~4時間かけて沈殿させ、上澄み(処理水)と汚泥とに分離します。

下水の高度処理
さらにきれいにするために、次のような施設の導入を進めています。

- ★ 砂ろ過法・生物膜ろ過法
第二沈殿池でとれきれなかった小さな汚れを取り除きます。
- ★ A₂O法
反応槽で、窒素やりんを効果的に除去します

塩素接触槽
処理水を塩素消毒して大腸菌等を殺菌してから、川や海に流します。

下水道管
下水を水再生センターまで導く管です。太さは25cm程度から8.5mに及ぶものまであります。

ポンプ所
下水道管は、下水を自然流下させるため傾斜をつけてあります。相当の深さになると、ポンプで地表近くまでくみ上げて、再び流下させます。

汚泥処理施設

汚泥の水分を取り除き、焼却しています。



※ 汚泥処理施設のない水再生センターは、汚泥処理施設のある水再生センターに送って処理します。

濃縮機 薬品を加え凝集させた汚泥をベルトに乗せ、重力ろ過によって水分を分離します。

脱水機 濃縮汚泥を脱水機で脱水します。

焼却炉 脱水した汚泥を焼却して灰にします。



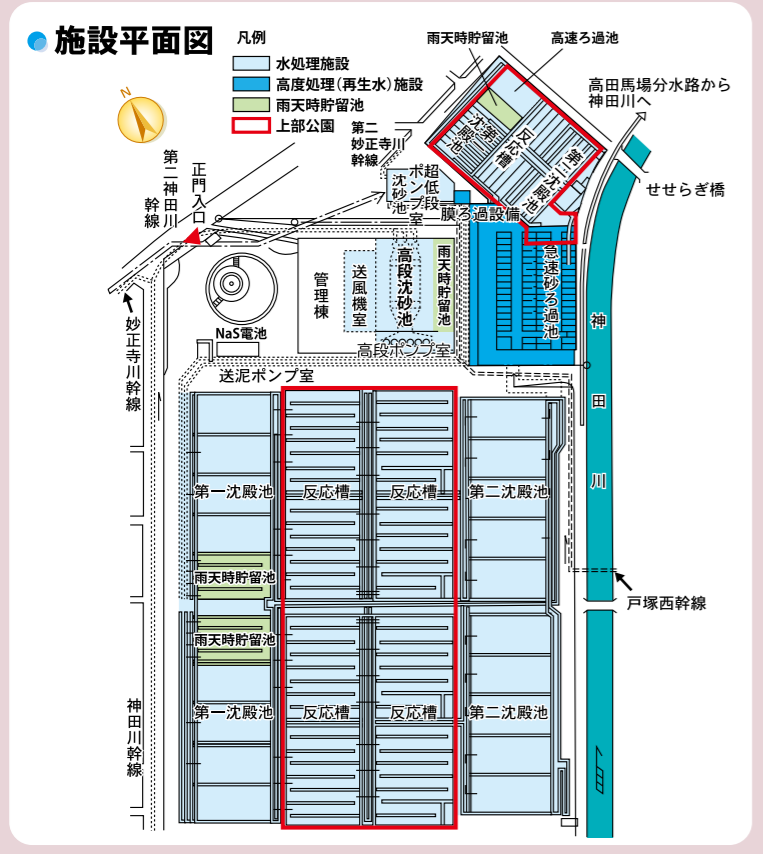
下水道の役割

汚水の処理による生活環境の改善
家庭や工場から排出された汚水を処理して、快適な生活環境を確保します。

雨水の排除による浸水の防除
道路や宅地に降った雨水を速やかに排除して、浸水から街を守ります。

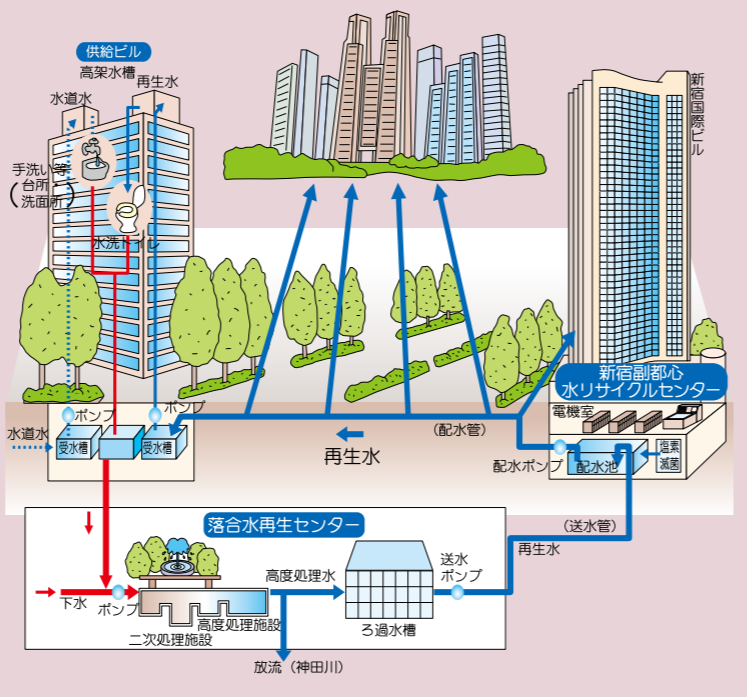
川や海などの水質保全
下水を処理し、きれにした水を川や海に放流することにより、その水質を改善し、保全します。

新たな役割
再生水や下水熱など下水道が持つ資源・エネルギーの有効利用や下水道施設の上部空間の利用などにより、良好な都市環境を創出するという新しい役割を担っています。



落合水再生センターの特色

都市の良好な水環境に貢献



処理水は水量が豊富で、また水質も安定しており、ビルの雑用水として有効に活用することが可能です。落合水再生センターでは、砂ろ過法により処理水を高度に処理した再生水を西新宿の新宿副都心水リサイクルセンターに送水しています。再生水は、西新宿や中野坂上地区のビルのトイレ洗浄用として活用され、水資源の有効利用に貢献しています。

城南三河川清流復活事業



▲きれいになった目黒川
水の流れがほとんどなく、河川環境が悪化していた渋谷川・古川、目黒川、呑川の三河川へ落合水再生センターで高度に処理した再生水を送水しています。再生水の放流により水量が増え、うるおいのある水環境がよみがえりました。

膜ろ過設備

落合水再生センターでは、全量砂ろ過された高度処理水を、日量50m³膜ろ過処理して「せせらぎの里公苑」に親水用水として供給しています。



光ファイバー通信網による遠方監視制御

下水道管の中を通した光ファイバー通信網を利用して、約3km離れた中野水再生センターの水処理施設の運転管理を行っています。

落合水再生センター



中野水再生センター

